オホーツク管内における感染状況と主な取組

資料5

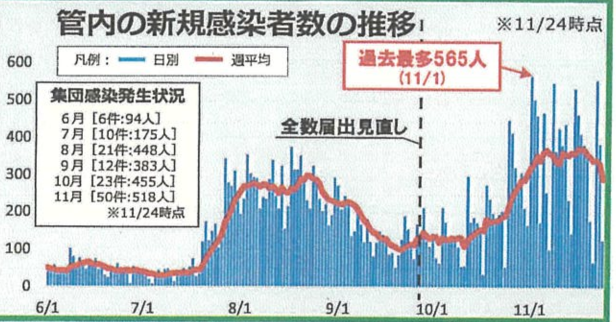
1 感染状況

○ 新規感染者数は、８月のピーク後、減少傾向だったが、
10月下旬以降、急激に増加（11/1に過去最多の565人）。
10代以下の感染増加による**家庭内・職場内の感染拡大**とともに、
高齢者施設、医療機関等での**集団感染**、学校の**休校**や**学年・学級閉鎖**が発生。

○ 全数届出見直し後の新規感染者数の推移（週累計）

※11/24時点

10月					11月			
1週	2週	3週	4週	5週	1週	2週	3週	4週
942	896	1,041	1,261	2,011	2,540	2,505	2,512	1,305


管内の新規感染者数の推移

※11/24時点

2 主な取組

【7月～10月】

○ **夏休み・お盆時期**及び**秋季**に**啓発ポスター**を作成・配付 ①③

○ 本州等へ帰省した**大学生**に向けて、**無料検査**(抗原定性・PCR)を促す**啓発ポスター**②を配付

○ 選果場などの事業所において、感染の拡がりがあったため、
局内各課から**各事業者**に向けて、**体調に不安がある場合は出勤を控える呼びかけ**を実施

○ 管内市町村会議で、**全数届出の見直しに伴う感染者への支援**の流れを説明、
「陽性者健康サポートセンター」及び**「陽性者登録センター」利用普及啓発**の協力を依頼

【11月】

○ **感染の急拡大に伴い、管内市町村長とオホーツク総合振興局長との連名**で、
基本的な感染防止行動の実践とワクチン接種をお願いする**メッセージを発出**④

- **市町村、関係団体、大学、**併せて**教育局を通じて各学校**へ配付
- **地域コミュニティ紙**に**保健所の取材記事**及び**広告**を掲載（北見市・網走市等の約8万4千世帯に全戸配布）

○ **医療機関等**との**意見交換を実施**し、**感染状況や今後の対策について共有**

○ 日本DMATによる**高齢者施設に対する療養指導や重症化予防の助言**等

①

②

③

④

オホーツク総合振興局と管内各市町村からのお知らせ

感染拡大防止に向けたお願い

基本的な感染防止行動（３つの行動）の実践とワクチンの接種

日常生活	・三密回避、人との距離確保、手指消毒、マスク着用、工夫した換気を徹底 ・高齢者や基礎疾患のある方、そうした方々と会う方の双方が基本的な感染防止行動を徹底
飲食	・短時間、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用
検査	[illegible]
ワクチン	・接種できる時期に応じ、早期のワクチン接種を検討